

# 【No.178】 Bmab + FOLFOXIRI療法

病名 \_\_\_\_\_ ID \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ (才)(男・女) ※化学療法承諾書要作成  
 身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> PS 0・1・2・3・4  
 \_\_\_\_\_ 科 主治医 \_\_\_\_\_ 治療ライン \_\_\_\_\_ 次治療 \_\_\_\_\_ 服薬指導 依頼する・不要  
 HBs抗原(+)→HBV DNA( )、HBs抗原(-)→HBc抗体( ) HBs抗体( ) 確認医(科長) \_\_\_\_\_

### 中止・延期基準

- ・Grade3以上の高血圧 ・Grade2以上の尿蛋白(アバスタン)
  - ・好中球1500/mm<sup>3</sup>未満 ・血小板7.5万/mm<sup>3</sup>未満(オキサリプラチン)
  - ・白血球3000/mm<sup>3</sup>未満 ・血小板10万/mm<sup>3</sup>未満(イリノテカン)
- UGT1A1ホモもしくはダブルヘテロの場合

→少なくとも1段階の減量推奨(イリノテカン米国添付文書より)

### 減量基準(オキサリプラチン添付文書より抜粋)

- ・好中球500/mm<sup>3</sup>未満 ・血小板5万/mm<sup>3</sup>未満
  - ・発熱性好中球減少症 ・Grade3以上の消化器系有害事象
- オキサリプラチンを65又は75mg/m<sup>2</sup>に減量 ・フルオロウラシルを20%減量

※化学療法実施当日の2号紙に、実施の可否について記載すること。(記載確認後ミキシング開始となります。)

※ポンプルートで使用する生食の量は別紙「5-FU持続静注のための早見表」参照

※アロカリス:原則として、入院患者への使用はホスアプレピタントを使用できない症例に限定すること。

コース	体重	day1	(day3)	指示	受領

day1 2 day3 4 5 6 ... 14

指示内容	点滴時間 計算値	計算式 催吐リスク	実施日	day1	2	day3	4	5	6	...	14
① ○ポート患者 生食20mlシリンジ(穿刺)生食250mlでルート確保			指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
② 生食100ml + [ グラニセトロン1A or パロノセトロン1V ] + デキサート _____ mg + ポラミン _____ A + [ ファモチジン1A or ホスアプレピタント1V or ※アロカリス1V ]	30分	高度 90%以上	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
③ ①残液でフラッシュ	全開		指示	(●)							
			受領								
			入力								
			実施								
④ 生食100ml + ベナシズマブ _____ mg ※終了後①の残液でフラッシュ (初回90分、2回目60分、3回目以降30分) 変更1: _____ mg(変更日: _____)	30-90分 _____ mg	5mg/kg 最小 10%未満	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
⑤A(⑤Bと同時に投与開始) 5%Glu250ml + オキサリプラチン _____ mg 変更1: _____ mg(変更日: _____) 変更2: _____ mg(変更日: _____)	120分 _____ mg	85mg/m <sup>2</sup> 中等度 30~90%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
⑥ 5%Glu250ml + イリノテカン _____ mg ※終了後、①の残液でフラッシュ 変更1: _____ mg(変更日: _____) 変更2: _____ mg(変更日: _____)	90分 _____ mg	150mg/m <sup>2</sup> 中等度 30~90%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
○ポンプルート ⑦ 生食 _____ ml + フルオロウラシル _____ mg + ヘパリンNa 5ml 変更1: 生食 _____ ml + _____ mg(変更日: _____)	46時間 _____ mg	2400mg/m <sup>2</sup> 軽度 10~30%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
○輸液ルート ⑦' 生食500ml + フルオロウラシル _____ mg 変更1: _____ mg(変更日: _____) 変更2: _____ mg(変更日: _____)	44-46時間 _____ mg	2400mg/m <sup>2</sup> 軽度 10~30%	指示	(●)							
			受領								
			入力								
			実施								
⑤B(⑤Aと同時に投与開始) 5%Glu250ml + レボホリナート _____ mg 変更1: _____ mg(変更日: _____) 変更2: _____ mg(変更日: _____)	120分 側管 _____ mg	200mg/m <sup>2</sup>	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
(輸液ルートの場合入力、ポンプルートの場合入力不要) ⑧ 生食50ml ⑨ ヘパリンシリンジロック or 生食シリンジ20ml	全開		指示			(●)					
			受領								
			入力								
			実施								

同時開始

2週毎(1投1休) 12コース終了後は、⑤A、⑥休薬

太枠内は原本に記入せず、コピーして使用すること。